

共焦点レーザスキャン顕微鏡利用規定

《LSM710 の使用と予約について》

使用する際には、装置メーカーの開催する講習会に必ず参加すること。講習会に出席していない研究室は原則として使用することができません。

毎月二回（1日と15日前後）、予約優先順位を決めるためのくじ引きを大塚研究室で行なっています。詳しい日程は問い合わせること。このくじ引きなしで日中（10:00～22:00）の装置利用に関する予約をすることはできない。（この運用は今後の混み具合で変更あり）

- ・くじ引きには遅刻しないように。遅刻した場合、予約は認めない。
- ・予約は日にち／午前・午後単位で行う。半月のうち一研究室当たり2日分まで（日中分の予約のみ）。

予約優先順位後、その日のうちに仮予約した日程をこの予約システムで入力してください（10分単位で予約可能）。入力後に予約完了とします。くじ引きから3日以内に入力が無い場合にはキャンセルとみなします。

予約のキャンセルは予約日の前日までに行うこと。キャンセルによって空きが生じた場合、使いたい研究室は大塚研究室に連絡後、予約できる（このときも必ず予約システムに書き込むこと）。

週に一日、メンテナンスのための時間を設けている。この間は日中、夜間とも使用できない。

共焦点レーザスキャン顕微鏡を使用するにあたって、次の事項に関しては特に気をつけること。

使用の際、講習会に出席した者が適切な指導を行った後、大塚研究室担当者の技術確認を終了した者のみ、使用可能とする。

利用者の不手際によるトラブルと判断した場合、使用者に始末書の提出を課して

いる。担当教授の印鑑を添え、必要事項を記入して大塚研究室まで提出すること。

飲食物の持込を固く禁止する。

使用後には周辺の後片付けを徹底すること。使用記録ノートに【氏名、所属研究室、使用開始時間・終了時間・使用レーザーの種類と累計時間】を記入すること。また、使用記録票を大塚研究室まで提出すること。

トラブルが発生した場合には放置せず、すぐに大塚研究室（内線 5772）まで報告すること。

使用できるレンズは[_10(乾燥),_20(乾燥),_40(水浸)]のみとする。

水浸・油浸レンズ使用時は、備え付けのMili-Q・オイルを使用し、使用後は綿棒・クリーニング溶液で必ずクリーニングすること。

《LSM710 取り扱い注意点》

1：レーザーモジュールに関して

- ・空冷アルゴンレーザーの空冷ファンの側には何も置かないで下さい。
- ・空冷アルゴンレーザー、ヘリウムネオンレーザーの電源コードには触れないで下さい。
- ・レーザーモジュールの白いカバーの上には何も置かないで下さい。
- ・レーザーモジュールのボックスから出ているオプティカルファイバー（銀色のケーブル）には触れないで下さい。

2：スキャニングモジュールに関して

- ・スキャニングモジュールの上には何も載せないで下さい。
- ・スキャニングモジュールにつながっているオプティカルファイバー（銀色のケーブル）には触れないで下さい。

3：顕微鏡に関して

- ・レーザー顕微鏡で画像を取り込んでいる最中は対物レンズから見えているレーザー光、散乱光を直接覗きこまないようにしてください。失明するおそれがあります。
正しい状態での検鏡が出来なくなる恐れがあります。
- ・使用中に対物レンズ及びレボルバーに水溶液等をこぼしてしまった場合、直ちにふき取ってください。

特に生理食塩水の場合には対物レンズ、及びレボルバーの部分がサビてしまう恐れがあります。

水漏れが起こった場合には直ちに大塚研究室までご連絡下さい。

- ・対物レンズにオイルをつけた場合には、**レンズクリーニング液**

(混合溶液：酢酸メチル 65%、無水エタノール 30%、エーテル 5%)

で良くふき取っておいてください。倒立型顕微鏡の場合、オイルがレンズの内部に浸潤し、

- ・蛍光観察用の水銀ランプは高温になります。点灯中、及び消灯後しばらくは手を触れたり、ダストカバーをかけないようにしてください。やけどや発火の恐れがあります
- ・使用中、顕微鏡につながっている電源ケーブルや各種ケーブル等は外さないで下さい。故障の原因になる恐れがあります。

4：ECU（灰色のボックス：ボード等が入っているボックス、多くのケーブルが出ている）について

- ・ケーブル類は外さないで下さい。

5：コンピューターに関して

- ・保存してあるデータを表示させた状態でディスクを取り外さないように下さい。保存してあるデータが破壊される可能性があります。